

# 中流域の生物多様性

里地・里山では、人の営みも多様性を構成しています。

## 里地・里山



人間が作った水田やため池などが多様な環境を提供し、様々な生きものの生活の場となっています。



オオセイボウ



キジ



ギフチョウ



メジロ



シマヘビ



アカトンボ

### コラム③ 水田の生物

春になるとカエルなどの両生類は産卵のため田んぼを利用します。しかし、春は耕作、田植えなどの農作業が行なわれる時期でもあり産卵場所は壊されてしまいます。そのため両生類は田植えが行われる前に産卵して陸に上がるものと田植え後に産卵するものに分かれて適応しています。



ヤマアカガエル

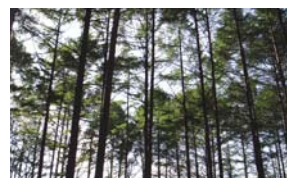
### コラム④ 河川による栄養分の流れ

川の流れには、命の源である水とともに目に見えない栄養分も流れています。

それは栄養塩類※といって中下流の藻類や海のプランクトンを育み、下流の生物多様性の根源にもなっています。

※栄養塩類とは、生物が成育するために必要な塩類。硝酸塩、リン酸塩など。

森林からの  
栄養



里山からの  
栄養



干潟の  
浄化機能



豊かな海

